

## 西脇市消費生活センター

☎22-3111(防災安全課内)

No.174

### 民法(債権法)改正【その①消滅時効】

「民法」は買い物などの契約や損害賠償に関するルールなど、生活の基本となる法律です。法改正に伴い、4月から200項目ほどのルールが大きく変わります。今回は「消滅時効」に関する改正のポイントをご紹介します。

#### ■消滅時効とは

消滅時効とは、一定期間を過ぎた債権(料金を請求する権利や、貸付金の返済を請求する権利など)を行使できなくなることをいいます。

これまでは消滅時効の期間は原則10年としつつ、日常での取引の債権等には短期消滅時効がありました。改正後は、消滅時効の期間は「権利を行使できることを知ったときから5年」または、「行使できるときから10年」に統一されます。なお、民法改正施行日の令和2年4月1日以降に発生した債権が、適用の対象です。

改正前

時効期間	債権の種類(例)
1年	飲食代金、不動産のレンタル代金
2年	弁護士の報酬
3年	医師の診療報酬
5年	商取引債権

改正後

原則5年  
(場合によっては10年)

## あぐりコラム 12

西脇市では黒田庄和牛や山田錦、イチゴなど全国に誇れる地域食材が生産されており、さまざまな農業振興施策を推進しています。このコラムでは、本市の農業に関する旬な情報をお伝えします。

■問合せ 農林振興課(市役所内線322)



完成した酒蔵施設。「オール西脇市産」の日本酒づくりが始まります

### 数十年ぶりに酒蔵が復活

黒田庄町門柳で建設が進められていた株式会社萬乗醸造の酒蔵が先月、完成しました。西脇市にとって、待望の酒蔵復活です。

西脇市内では全国に誇れる酒米の王様「山田錦」が多く生産されています。現在、生産された山田錦は全国約50の酒蔵へ出荷し、日本酒に醸造されていますが、生産者は自分が作ったお米がどのような酒蔵へ行き、どのようなお酒になるのか、知らない人がほとんどです。

今回の酒蔵復活によって、生産者と酒蔵(蔵人)は互いに顔がよく見えるようになります。生産者は「良い酒のために良い米を提供しよう」という意識が、蔵人は「生産者の思いに応えよう」という意識が高まり、互いの技術向上につながることを期待しています。また、完成した酒蔵では西脇市産の山田錦を100%使用した日本酒の醸造が予定されており、西脇市の新たなブランドが誕生します。

市では、農業関係者のつながりが深まり、地域の農業がさらに活性化するような取り組みを進めていきます。



▲保育教諭らが「遊び」をテーマにグループワーク(令和元年7月)

# 好きです!! にしわき わたしのふるさと

## 心紡いで 彩り豊かな人財の育成

～誰もがふるさとに誇りと愛着を持ち、輝いて生きる 共生社会の実現に向けて～

教育委員会や学校園の情報をお知らせします。

### 保育教諭が現場で学習・実践・意見交換 就学前教育・保育の充実を目指した取り組み

幼児教育センターでは、幼稚園や認定こども園の保育教諭らの資質向上のために、年間を通じて幼保交流研修(保育士等キャリアアップ研修)を実施しています。今回「保育実践研修」をご紹介します。

#### 若手や現場復帰者のための保育実践研修

保育現場での実習経験が少ない保育教諭(経験年数5年未満)や、長期間、保育現場での保育を行っていない保育教諭を対象に、保育実践研修を行っています。西脇市では平成30年度から重点的に取り組んでいます。

#### テーマは「子どもが楽しく遊ぶための環境と遊び」

複数回開催した今年度の研修では、次のことを学びました。  
・保育における環境構成  
・子どもとの関わり方  
・体を使った遊び  
・言葉や音楽を使った遊び  
・物を使った遊び  
保育教諭らの学びを深めるため、研修では毎回、遊びや保育環境に関する事前課題に取り組み、課題を発表したり、

グループワークを行ったりしました。参加者が実際に担当するクラスの様子を伝えながら研修を進めたり、今後の保育について相談し合ったりする姿が見られました。  
現場で研修を行うことで、目・耳・肌で学ぶ

今年度は、幼稚園やこども園の保育現場で研修を実施したことで、研修対象の保育教諭だけでなく、会場の園の保育教諭らも参加し、「保育実践」を学ぶことができました。また、園の保育室を見学することで、所属する園以外のさまざまな保育環境を見たり、知ったりする機会にもなりました。  
西脇市の就学前教育・保育を担う保育教諭らが積極的に学ぶ姿勢を大切に、来年度以降も研修で理解を深めます。  
◆問合せ 幼保連携課(市役所内線562)

### 心のスケッチ 132 人権教育課コラム かけがえのない命へ卒業生へ贈る言葉から

ある高校で配布された一枚の学校新聞。そこには3年間の学びを終え、巣立ちのときを迎える卒業生に向けた先生方からのメッセージが綴られていました。

私はその中にある一つの文章が目にとまり、何度も読み返しました。そこにはこう書かれていました。  
「あなたが何となく過ごした今日は、昨日亡くなった人が生きたいと願った一日です」

6,434人の尊い命を奪い、未曾有の大災害となった阪神・淡路大震災から25年。その先生は震災を経験していない卒業生に、「命の大切さ」を伝えたいという強い思いを込めてメッセージを書かれました。

読み続けながら、私は教師を志し、大学で一緒に学んだ友人のことを思い出しました。卒業後、神戸と西脇の地でそれぞれ教師になるとい夢をかなえ、私たちは新米教師として日々、子どもたちに奮闘していました。そんな中、この地震は起こりました。

1月17日、友人は住んでいたマンションの倒壊によって亡くなりました。その年の8月には、新しい命が誕生すると聞いていて、友人の無念を思うと今も胸が痛みます。私にとって、一生忘れられない出来事です。

25年がたち、私は友人が子どもたちと共に過ごしたと願った大切な一日一日を、今も生きることができています。その一方、昨今は児童虐待やいじめが原因で命が失われる事案を、新聞やテレビで見聞きします。命に軽重や優劣はなく、全ての命はかけがえのない唯一無二の存在なのに、なぜかと、悲しくなります。

卒業式シーズンを迎え、新しいステージへと旅立つ子どもたちには、これから夢や希望をかなえるために、「今日」という一日を大切に生きてほしいと思います。そして、自分自身やそばにいる人、目の前にいない人など、全ての人の存在を大切にでき、何よりも命の尊厳を大事にする人であってほしいと願っています。(人権教育課)

## 市長からの手紙

西脇を元気に!!

74



西脇市長 片山 一

### 「高校生の活躍」 ↓「まちが元気に」

今年で2年目になりますが、西脇市は高校生が取り組む地域振興や地域貢献に関する活動に支援をしています。先日、市内の3高校がそれぞれの特色を生かした内容を発表してくれました。

西脇高校の地学・生物部は、小学校で理科の出前授業を実施。「レモン」で作った「果物電池」でオルゴールを鳴らす実験を伴う授業を。同家庭クラブは、地元企業と連携し、綿の作成から播州織のデザインまで関わった播州織を製作。



生徒らは取り組んだ活動を報告

JR西脇市駅の待合室で播州織をPRするなどのプロジェクト内容を発表してくれました。  
西脇北高校は、地域の特産である山田錦を使った甘酒を作成。精米歩合による成分の相関や甘味の違いなど、高度な分析手法で研究に取り組みました。  
西脇工業高校は、特産品の金ゴマ栽培の機械化を研究。生徒が種まきや刈り取り、選別作業などの農作業も体験しながら、生産の中で最も大変な工程の省力化を目指し、「自動ふるい機」の開発に取り組まれました。  
素晴らしい内容の取り組みに感激しました。高校生が地域の方々と関わり、地域課題の解決に取り組む活躍することで、まちが元気になることを期待しています。  
若者が誇れる「元気なまち西脇市」を皆さんとともに創ってまいります。